



## 後期学校評価の結果をお知らせします

学校評価は、子どもたちがよりよい教育を享受できるよう、教育活動の成果を検証して学校経営の改善を目指すためのものです。学校経営の5つの重点の取組に対して、生徒・教職員・保護者アンケートの結果等を基に分析し、来年度の改善策についてまとめました。

※結果は、生徒と保護者のアンケートをもとにして示してあります。  
 ※数字は全回答数に対して、選択肢A(よくあてはまる)、B(まあまああてはまる)、C(あまりあてはまらない)、D(あてはまらない)の回答数を%で示してあります。  
 ※個々の判定は絶対評価とし、以下のabcdの4段階で判定します。  
 a判定(達成)・・・A50%以上、b判定(ほぼ達成)・・・A40%以上50%未満、  
 c判定(未達成)・・・A30%以上40%未満、d判定(未達成)・・・A30%未満

### ○学校経営の5つの重点1 授業力向上(確かな学力を身につけさせる)について

- a判定** ⑤宿題や提出物は、期限を守ってきちんと提出している。
- b判定** ①チャイムスタートができています。  
 ②授業の始めと終わりのあいさつをきちんとしている。  
 ④授業中、友だちや先生の話をよく聴いている。
- c判定** ⑩夢や仕事について考えることがある。  
 ⑨授業はわかりやすい。  
 ⑥今している勉強は将来に役に立つと思う。
- d判定** ⑦授業では、課題に対して自ら考え、自分から取り組んでいたと思う。  
 ⑧話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができる。  
 ⑪中学校卒業後の進路のことについて、家庭で話している。  
 ③授業では正しい姿勢を心がけている。

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
50%	34%	11%	4%	16%	41%	34%	9%
47%	47%	6%	0%				
46%	48%	6%	1%				
42%	53%	3%	1%				
33%	38%	23%	6%				
32%	61%	6%	1%	12%	64%	20%	3%
31%	50%	15%	4%				
29%	58%	11%	2%				
27%	58%	13%	2%				
26%	41%	26%	7%	21%	64%	14%	2%
25%	52%	21%	2%				

美中生はどの項目でも肯定的評価をした生徒は約70%以上と前期と同程度である。前期より宿題や提出物は、期限を守ってきちんと提出しているについては5ポイント、卒業後の進路についてや夢や仕事についてなど将来につながる数値が10ポイントほどあがってきた。あいさつやチャイムスタートの意識は下がっている。また、授業中の姿勢は継続の課題である。

来年度は取り組んでみたい、解決したいと思うような課題の設定を心掛け、学習したことや自分の考えを表現する活動を増やし、対話的で深い学びにつなげます。個人懇談や進路について調べたり体験したりする機会を継続して行き、キャリア教育の充実を図ります。授業中の姿勢、話を聞く態度がよくなれば学習効果につながるので引き続いて意識させます。

### ○学校経営の5つの重点2 生徒指導の充実(安心して学べる学校づくり)について

- a判定** ②毎日、朝食を食べて登校している。  
 ③朝読書の時間は静かに本を読んでいる。  
 ④部活動や地域スポーツクラブの活動に積極的に参加している。  
 ⑥社会のルールや学校の規則を守っている。(自転車や交通ルール)
- b判定** ①学校へ行くのは楽しい。  
 ⑨場に合った言葉遣いをしている。  
 ⑤掃除はまじめに行っている。  
 ⑩時計をみて、時間を意識して行動している。
- c判定** ⑦自分の健康に関心を持ち、規則正しい生活を身につけている。
- d判定** ⑧自分のよいところを知っている。

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
79%	15%	5%	1%				
64%	29%	5%	2%				
63%	28%	4%	4%	57%	36%	5%	3%
53%	44%	2%	1%	33%	62%	4%	0%
46%	45%	7%	2%	37%	55%	7%	1%
43%	53%	4%	1%				
41%	52%	6%	1%				
41%	52%	6%	1%				
36%	46%	13%	4%	17%	52%	26%	5%
26%	44%	21%	9%				

美中生はどの項目でも肯定的評価をした生徒は約90%以上と高い水準である。朝食を食べて登校し、朝読書の時間に静かに取り組んだり、部活動や地域のスポーツクラブに取り組んだりすることに積極的である。言葉遣いやルールや掃除、時間に対する意識を概ね守っている生徒が多い。自分のよいところを知っているという生徒の割合がまだまだ低いのが課題である。

来年度は学校生活や学校行事でよい部分を認める場面を増やしたり、目標を設定し、振り返る場を工夫したりすることで、自己肯定感が高まるように努めます。

○学校経営の5つの重点3  
心の教育の推進（いじめや不登校の未然防止）について

a判定 ⑤いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。

b判定 ①相手思いや言葉を使い、周りに困っている人がいたら助けたいと思う。

④自分には悩みや心配事があるとき相談できる人がいる。

②誰かがいじめや迷惑行為を受けている時、それを止めたいと思う。

c判定 ③先生や友達は、生徒の良いところや努力しているところを認めてくれていると思う。

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
71%	24%	3%	2%	50%	44%	5%	2%
48%	47%	4%	1%	24%	70%	6%	1%
45%	39%	10%	6%				
43%	49%	6%	1%	29%	66%	5%	0%
33%	57%	8%	2%	25%	70%	5%	1%

美中生はどの項目でも肯定的評価をした生徒は約90%以上と高い水準である。いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている生徒が多い。「悩みや相談事があるとき相談できる人がいる」や周囲でいじめや迷惑行為を見たら、それを積極的に止めたいと思う気持ちが高い。また、自分の良いところを認められているという意識は少し下がっている。

来年度は学校生活全般を通じて生徒同士、生徒と教員が認め合える場面を意識し相談しやすい環境づくりにさらに努め、安心して過ごせる学校づくりを継続していきます。否定的評価な生徒には、個人懇談など継続に行い、よいところを見つけ、教員が共有し、認める場面を意図的につくっていきます。

○学校経営の5つの重点4  
生徒会活動の活性化（生徒の活動が見える学校）について

a判定 ①学級における決められた係の仕事や委員会活動などにきちんと取り組んでいる。

②行事に積極的に参加し、学級のみんなや部活動のメンバーと協力し合っている。

b判定 ③学校や地域・家庭で相手も自分も笑顔になるあいさつをしている。

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
57%	38%	3%	2%				
51%	43%	4%	2%	28%	45%	21%	7%
40%	47%	11%	2%	31%	57%	12%	1%

美中生はどの項目でも肯定的評価をした生徒は約95%以上と高い水準である。行事への意欲がとて高く、積極的に取り組む。学級や委員会の仕事も前向きに取り組む生徒が多い。自分からあいさつをしようとする意識が若干下がっている。

来年度は、様々な行事を成長の機会と捉え、学校・学年・学級でのつながりを深めていくことができるよう努めます。あいさつも生徒会、部活動、縦割り班の様々な取り組みを継続していき、質を高めていく努力をします。

○学校経営の5つの重点5  
家庭・地域との連携（保護者、地域の願いと自己実現）について

a判定 ①学校の教育方針や教育内容について理解している。

②学校は子どもや保護者の相談事によく対応している。

③学校日より、学年日より等の配布物やホームページには、よく目を通してしている。

保護者			
A	B	C	D
15%	72%	10%	2%
27%	69%	4%	1%
17%	63%	18%	2%

家庭・地域との連携は、どの項目でも肯定的な回答が80%以上と高い水準である。前期から継続して、さまざまな行事や育友会の集まりなど機会を捉えて、教育方針・内容を訴えてきた。また、相談 に対しても、丁寧な対応を心がけてきた。メーリングリストの継続やホームページで生徒の様子を画像や動画でお知らせする機会を増やしたので「配布物やホームページによく目を通してしている」の数値も高い。

来年度も、相談 に対しては、情報の迅速な共有、適切な対応を継続します。配布物やホームページに関しては、配布時の学級での指導やメール配信を継続し、お知らせしていきます。また、ホームページで生徒の様子を今後もタイムリーにお知らせしていきます。

○学校関係者評価委員、学校評議員より

- ・とても落ち着いて授業を受けている。
- ・判定基準がA判定だけではなく、A+B判定の評価を足して分析してあり肯定的な割合が見れた。  
→今後もA判定だけの評価と、B判定も含むと肯定的評価の割合で分析していく。
- ・通学時の生徒の交通マナーが悪い。（横断歩道をしっかり渡らない）  
→徒歩通学者、自転車通学者ともに横断歩道をしっかり渡るように指導していく。
- ・いじめの未然防止について、CD評価への対応はどうなっているのか。  
→「いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている」にCDの評価をした生徒には、面談を行っている。
- ・3小学校の交流を行えばいいのでは。  
→小中連絡会議で交流はあるが、お互いの授業参観や授業研究などは行っていないので今後検討していきたい。

学校評価の結果と学校関係者評価委員会の皆様や保護者のご意見をもとに、課題となっている項目を再検証し、学校生活がさらに向上していくように努めていきます。